

☆民主党大会開催

☆政研21、堀江先生講演要旨

☆兵庫民社第10回総会

第110号 2004年2月1日

(平成7年3月17日第三種郵便物認可)

月刊

民社

発行 民社協会

編集発行人 出中 慶秋

〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目20番9号

第5須賀ビル6階

TEL (03) 3501-5111 毎月1回1日発行

E-MAIL minsha@mx1.ttcn.ne.jp

購読料 年間 1,000円

(会員の購読料は会費の中に含む)

政権交代に向けて大飛躍

— 民主党2004年度定期大会 —

マニフェストの進化をはかる

民主党の2004年度定期大会が1月12日、13日の両日、東京都内のホテルで開催された。大会には代議員をはじめ、約1300人が参加した。

初日の12日には党所属自治体議員、都道府県連代表、参議院選挙公認候補者らが参加して、地方・特別代議員会議が行われた。

13日の大会には労働界を代表して笹森清連合会長、経済界を代表してドトールコーヒー社長の鳥羽博道氏が出席し、来賓の挨拶を行った。

大会冒頭、挨拶に立った菅直人代表は「2006年までに民主党として新たな憲法のあり方を国民に示せるようにしたい。国連平和維持活動に参加するための国連待機部隊の創設を検討したい」と従来の消極的な憲法、安全保障問題への取り組みから転換する姿勢を示した。

また、国民の意思が政治に反映しやすい制度改正として、国民投票や住民投票の実施を検討する、税金の無駄使いをチェックするため、内閣や国会から独立している会計検査院を国会に付随させる、ことを表明した。

岡田克也幹事長は2004年度活動方針、比例で2500万票、1人区で10人以上の当選を目標とする参議院選挙対策方針、2003年度決算、2004年度予算、党規約改正および党改革推進委員会の設置、代表選挙制度改革の5つの議案を提案した。

質疑応答ではマニフェストをより明解で分かりやすいものにすることや地方組織の強化、地方議員の拡大についての質問などが出された。枝野政調会長は「マニフェストは参院選用のものも作成する。地方でも検討していただき、遅くない時期に討論する場を設ける。北朝鮮に関しては追加マニフェストで示たとおり、単独でも経済制裁できる法整備が必要だ」と答弁した。

政権を担うにふさわしい開かれた国民政党をめざす

現在の党組織では政権を担うには不十分である。そのため、開かれた国民政党に党組織を改革していく。改革派知事、市町村長との対話を促進する。NPOなど各種団体との連携を強化する。



参議院選2500万票獲得にむけて向けて、いざ出陣

次の総選挙で政権交代を実現するには、民主党が政権担当能力を持つ政党だと国民に納得してもらう必要がある。重要課題に対して説得力のある対案を提示して、国会を含め積極的な運動を展開する、としている。

通常国会ではイラク特措法に基づく自衛隊派遣、道路公団民営化、教育基本法改正、国民投票法案、国民保護法制など課題が山積している。これらの重要課題について、民主党がどれだけ国民の納得できる方針と行動をとれるか、どうか7月に行われる参議院選挙の結果に大きく影響する。

次の総選挙で政権交代を必ず実現するには、7月の参議院選挙での大勝利が不可欠である。一致団結して参議院選挙の勝利に向けて努力していかなければならない。

2003年総選挙がホップ、2004年参議院選挙がステップ、次期総選挙がジャンプである。政権交代への流れを確実なものとしていくため全力を尽そう！

民社協会平成16年度年次総会

開催日程

期日：3月13日(土)午後1時～

会場：全国町村会館ホールA